

平成25年度子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業

体験活動スキルアップ研修会 インタープリテーション編①

平成25年9月14日(土)～15日(日)

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

自然体験活動を行っている施設職員関係者や教職員，団体を一堂に会し，自然体験活動の技術や知識を向上したり情報交換を行ったりし，青少年の自然体験活動のさらなる充実を図る。

今回の研修会では，インタープリテーションの理論や手法から自然の中で過ごすことの楽しさや心地良さを感じたり伝えたりすることを体験し，受講者が研修から学んだことをそれぞれの活動場所で生かすことを目的とする。

2. 事業の概要

(1) 日程

平成25年9月14日(土)～15日(日)

(2) 募集人員・対象

40名 施設職員，体験活動指導者，青少年団体関係者，環境教育関係者，教職員，施設ボランティア等

(3) 参加者

8名 教職員2名，施設職員2名，一般2名，施設ボランティア2名
(岡山県5名 鳥取県3名)

(4) 講師

財団法人キープ協会 増田 直広氏

(5) 企画・運営のポイント

受講者のほとんどがインタープリテーションに関わる見識を持ち合わせていないことから，はじめ，インタープリテーションの理論や手法が，自然の中で過ごすことの楽しさや心地良さを感じたり，伝えたりするのに有効なことを理解できるよう，活動プログラムを体験することから始める。次に，受講者一人ひとりがインタープリターとしての視点を持った自然体験プログラムを作る演習に取り組み，受講者がプログラムの相互指導を行うようにすることで，研修から学んだことが生かされるよう企画した。

3. 活動の内容等

(1) 日程等

| 9/14 (土) | | 9/15 (日) | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 時程 | 活動 | 時程 | 活動 |
| 9:30 | 受付 | 6:15 | 起床・洗面 |
| 10:00 | 開会式 | 6:45 | 掃除 |
| 10:30 | ウォームアップ | 7:15 | 朝のつどい |
| 12:00 | 昼食 | 7:30 | 朝食 |
| 13:00 | 自然体験プログラム体験 | 8:30 | 片付け |
| 17:20 | 夕べのつどい | 9:00 | 自然体験プログラム発表 |
| 17:35 | 夕食 | 12:00 | 昼食 |
| 19:00 | 自然体験プログラム作り | 13:00 | まとめ |
| 21:00 | 入浴 | 15:30 | 閉会式 |
| 22:00 | 就寝 | | |

(2) 活動の状況

1日目の午前中は、ウォームアップとして、受講者の自己紹介のことや研修で学びたいことなどをゲームを通して情報交換し学びやすい人間関係を作った。午後から、実際にフィールドに出て講師の増田氏によるインタープリテーションのプログラムを体験した。「導入」「展開」「まとめ」とデザインされたプログラムを展開する中で、受講者は、インタープリテーションのプログラムの流れや手法、自然の中で過ごす心地良さを体験した。

その後、体験活動の意義やインタープリテーションの公式、プログラムデザインなどの講義を受け、2日目に行うインタープリテーション相互指導のオリエンテーション（「導入」「展開1」「展開2」「まとめ」を担当する4つの班分けやプログラム選定）のもと、受講者は、自分の担当するプログラムを読み解いたりフィールドの下見を行ったりした。講師は、受講者がプログラムを効果的に行えるようにアドバイスを行ったり質問に答えたりした。

2日目の午前中は、インタープリテーションの相互指導の実習を行った。「導入」では、フィールドで見つけた葉っぱや枝などの素材を使って他己紹介をした。葉っぱや石など同じ素材でも多様な見方があることを学んだ。「展開1」では、木や石、葉っぱなどに目玉を付ける活動をした。この活動を通して、見えないと思っていたものや気にとめなかったものが、見方を変えると見えてくることを学んだ。「展開2」では、与えられた色紙の色と同じ色を自然の中から探す活動をした。普段は、何気なく見過ごしている風景の中にも思わぬ色が隠れていることや、季節が変わっていることに気付いた。「まとめ」は、研修を通して、自然を感じたことや学んだことを俳句にして表した。五感を使って自然を感じることや表現や感じ方の違いを学んだ。

午後からは、他の受講者から出された意見を参考にしながらプログラムの練り直しを行った。自分たちの指導方法やねらいに迫れる流れであったかなどを検証した。

最後に、インタープリテーションの理論や手法を日常でどのように展開させていくか助言をいただき研修を終えた。



[プログラム体験：はっばっぱ]



[講義]



[プログラム実習]

4. 成果・課題

(1) 成果

今回の研修会の受講者のほとんどが、インタープリテーションに関わる見識をもち合わせておらず、研修内容に大きな期待をもっての受講となり、どの受講者の方にも満足していただくことができた。インタープリテーションの理論や手法をしっかりと体験した後に、自分たちでプログラムを行ったことや、講師から丁寧なアドバイスを頂けたことからプログラム作成に関わる多くの気づきを得られたことが満足につながったと考える。

(2) 参加者の声

○ 事業全体に対する満足度・・・100%

{参加者自由記述}

- ・インタープリテーションについて知り、様々な体験をさせていただけてよかったです。
- ・講義や活動がバランスよく組み立てられていて学ぶことが多かったです。
- ・視野が広がりました。毎日の生活が楽しくなりました。ありがとうございました。
- ・とてもすてきな内容で気づきが多くありました。
- ・プログラムの流れがよく内容に関する理解が深まりました。

(3) 今後の課題等

岡山県を中心に県内外に、どのように広く広報していくかが今後の課題である。メールやHP、チラシによる広報だけでなく関係諸機関と連携して広く広報する方法を探っていく必要があることを感じた。また、研修内容の充実を図り、受講者をリピーターとして、引き続き、研修に参加していただいたり受講者から他の方を研修にお誘いいただいたりする努力もしていきたい。



[プログラム体験]



[プログラムの練り直し]



[プログラム実習：めだまっち]

担当：企画指導専門職 飯石 浩二